

てんびんガイドだより



2025年 ヴォーリス来日120周年



近江八幡観光ボランティア
ガイド協会 広報宣伝部発行
お問合せ
近江八幡駅
北口観光案内所
0748-33-6061
協会:HP/QR



近江八幡観光物産協会 会長就任のご挨拶

近江八幡観光物産協会 会長 小川与志和



このたび近江八幡観光物産協会会長を拝命致しました、株式会社 和た5代目店主の小川与志和でございます。

平素よりボランティアガイド協会の皆様には観光や研修等で近江八幡へお越し下さるお客様へのガイドやおもてなしのみならず、観光物産協会事業に対しても多大なお力添えを頂きまして誠にありがとうございます。

会長職をお引き受けするにあたり、16年間にわたって会長職を務められました森嶋篤雄前会長の活動方針を引継ぎ、新年度は「with you～あなたとともに～」をテーマに魅力溢れる観光の町近江八幡を皆さんと築いて参りたいと考えております。

近江八幡には豊かな自然と数多くの歴史的財産やストーリーがあります。世界的な存在である琵琶湖や水郷、戦国の歴史を刻む安土城址、近江商人の活躍の礎となった八幡堀界隈の古い町並みやヴォーリス夫妻が紡いだストーリー。私達の暮らすこの街はこんな

にも豊かな資源があります。その価値にまずは市民が気づき、その存在を見つめ直し学ぶことで自分達の街に誇りを持つことが大切だと考えています。

まずは観光物産協会が行政と協働しながら発信していくものだと考えておりますが、訪れる観光客の方々にその価値を伝えることはボランティアガイドの皆さまのお力が不可欠です。眼前の何げない風景も、旅先で出会う体験やお食事も、皆さんのお言葉でその奥行きがぐんと深まります。近江八幡の旅の思い出が、皆さんの力で訪れる人の心に刻まれることでしょう。

コロナ禍後、観光のニーズは以前にも増して大きくなっています。海外からのお客様を見掛けることも珍しくなくなりました。これから近江八幡を全国屈指の観光の町に築きあげていきたいと思ひます。その最前線でご活躍頂くボランティアガイドの皆様に改めて敬意を表するとともに、益々のご活躍をご期待申し上げます。

ともに力を合わせて頑張っていきたいと思います！

近江八幡観光ボランティアガイド協会 賛助会員様

アイズ(株) ・ あゆの店 きむら ・ (株)近江兄弟社 ・ 酒のさかえや ・ 近江八幡和船観光(協)
(一社)近江八幡観光物産協会 ・ 久ぼ多屋 ・ (株)加悦ファーマーズライス ・ (株)カネ吉 ヤマトフーズ
喜兵衛 ・ 漁師の店 川田商店 ・ グリーンホテル Yes 近江八幡 ・ (株)ダイゴ ・ 休暇村 近江八幡
(株)滋賀銀行 八幡支店 ・ 滋賀中央信用金庫 本店 ・ (株)水郷のさと まるやま ・ たねや 日牟禮乃舎
(株)シャーレ水ヶ浜 ・ 西国三十一番札所 長命寺 ・ 坪田好平「坪清」 ・ (宗)日牟禮八幡宮
初雪食堂 ・ (株)日吉 ・ (有)ほのぼの館 ギャラリースペース新町浜 ・ まるたけ 近江西川 ・ 宮前
まちや倶楽部 (株)ワラピー ・ (株)もりしま(寛閑観) ・ 前出産業(株) ・ 村雲御所 瑞龍寺門跡 ・ 魅惣
(株)和でん ・ (株)木馬 ひさご寿し ・ 山上 日牟禮店 ・ レアウッドビーズ美樹 ・ ひょうたんや
近江牛 毛利志満 ・ 天然石のベル・クレール ・ あきんどの里 與平 ・ 近江鉄道(株) あやめ営業所
(株)和た5 ・ びわ湖観光株式会社 ・ (敬称略・順不同)

いつも、私達の活動を応援くださり、ありがとうございます

バンザイなこっちゃヴォーリス120年記念

『汽船でゆく今津ヴォーリス通り』 ガリヤ丸の軌跡に参加して 広川哲朗



琵琶湖汽船所有 高速艇ランシング

どこまでも青く深い空、すいすいと波を切って進む高速艇ランシング。湖上の風が心地よい。客室を飛び出して艀に設けられたデッキに腰掛け、うとうとしていたら急に船は減速し先ほどの半分ほどの速さになった。110年ほど前に長命寺港（現舟木町の艇庫）をあとにしたガリヤ丸のスピードに合わせて旅行社の人が琵琶湖汽船にあらかじめ頼んでもらったイベントだった。

当時は湖西にショートカットする琵琶湖大橋もなく、ぐるっと回って今津まで3日かかる、てくてく旅だった。なるほどガリヤ丸は湖西へ3時間で渡れる、なくてはならないものだった。この船を調達するためヴォーリスは帰米し支援者ハイド氏に船での移動の必要性を説明していたようである。

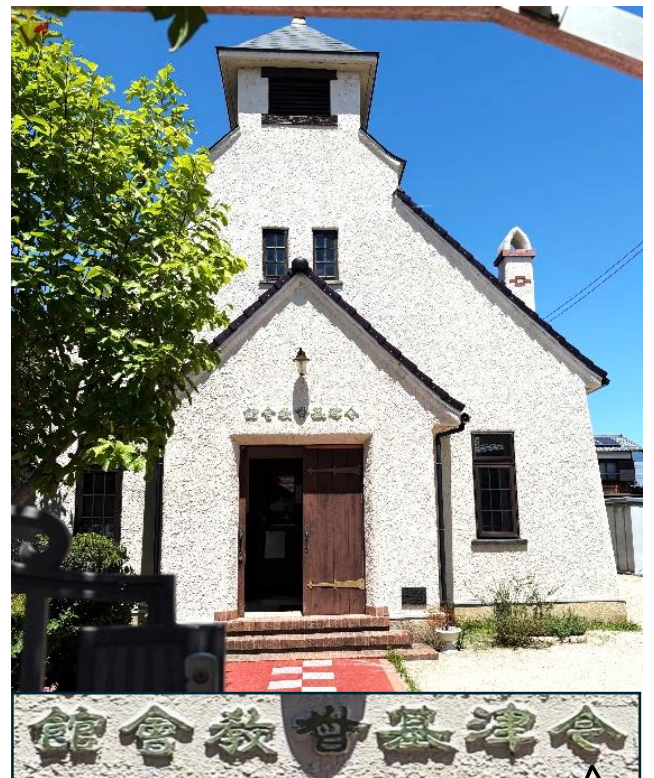
ガリヤ丸は進水式のあと20数年の間ポンポンと音を立て、船長こそ代わっても、途中エンジンをチューンアップし船体を改造して活躍し湖西に多くの拠点を築く立役者となったのである。進水式の3年前に主要メンバーが行った西近江路調査の折には、天台宗14・真宗62・禅宗22・他18と、在来の宗派の布陣が報告されている。

湖西の人々も長く仏教信仰者でありその反発は想像を超えるものであったが理解を得られたひとつには子供が大きな役割を担ったようである。楽しそうな音を立て、颯爽と波を切って進むガリヤ丸が停泊する港々にはたくさんの子供が群がるように集まり徐々に交流が深まっていった。

この同時期に布教活動のみならず後世に残るレガシーとも言える多くの建物を残されたことに驚かすにはいられない。

スペシャルゲストとして吉田与志也氏から祖父吉田悦蔵氏の資料を紐解きガリヤ丸の軌跡を丁寧にお話いただいた。旧今津郵便局ではその保存に尽力されている石田氏のお話を聞かせていただき保存活動の努力と共に深いヴォーリス愛を感じた。このイベントを企画実行された皆さんありがとうございました。

最後に吉田与志也氏著『信仰と建築の冒険』（サンライズ出版）を参考にご紹介致します。



今津基督教會館 今の字が左右逆になっている



恒例の八幡堀まつり開催

9月20日(土)～21日(日)に夕方より近江八幡観光物産協会の主催で「八幡堀まつり」が開催されました。当協会のローソクでの点灯範囲は白雲橋下の八幡堀散策歩道南側から新町浜まででプラスチック容器内に入っているローソクをガスバーナで点火しました。その後、突然雨が降り、折角点火したローソクが消えていないか心配になりました。雨が止んで、暗くなってきましたので懐中電灯で消えているローソクを点検いたしましたところ、ローソク

の芯が濡れているので点火しないことが分かり、芯を乾かし点火いたしました。

全て点灯しますと昼間の景色と違った八幡堀の両側

の水面が静寂な幻想的に景色がゆれ動いてその美しいことや!!

昔、結婚式のキャンドルサービスでローソクの芯にビールをかけ、新郎新婦がトーチで点火してもなかなか点火しないので、新郎新婦を困らせた事を思い出しました。

最後にこの二日間ご協力いただきました近江八幡観光物産協会の

の皆様本当にお疲れ様でした。事業部の皆様ありがとうございました。

広報宣伝部 中村 保



今秋、3小学校12クラスで紙芝居を上演

熱心に観覧して頂いた小学生の皆さん、ありがとうございました



当協会の紙芝居部は、今秋、3小学校で上演しました。

9月8日金田小学校4年生4クラス(演目:白鷺の恩返し・名まえをかえた小僧さん)

9月10日金田小学校6年生4クラス(演目:ヴォーリズ物語)

10月8日八幡小学校4年生3クラス(演目:ヴォーリズ物語)

10月24日馬淵小学校6年生1クラス(演目:秀次さんと近江八幡)

なお、近江八幡市内の小中高等学校様へは、無料で上演致しております。

当協会の紙芝居部まで、お気軽にお申し付けください。

昨年に引き続き、今年も『救命救急講習会』を開催



とっさの時に迅速な行動・対応ができるように、去年の7月に引き続き、今年も8月30日に近江八幡消防署より救急救命士をお迎えして『救命救急講習会』を開催しました。

応急手当の重要性からはじまり、救命処置の手順、心肺蘇生、AEDの操作手順と実習も含めて、ご指導を頂きました。

♥ 各会員様においては、その後、資料の再読とAEDの設置場所の確認をしましたか?

観光列車「はなあかり」でのPR活動



定年を迎えたら「ブルートレインに乗ろう！」が夫婦の将来の夢でした。

ところが、ブルートレインの方が先に引退。近年は豪華な観光列車が多く誕生し、価格は手の届くものではなく夢は遠くなりました。

ところが、この7月から9月に大阪発着の観光列車「はなあかり」で琵琶湖一周が行われることで、チャンス到来！近江八幡駅に21回約13分間停車され、観光物産協会からの声かけで、当協会も2回、車内でのおもてなし活動の機会をいただきました。

列車は檳榔樹（びんろうじゅ）染色の3両編成、車

内は四季の草花をモチーフに装飾されています。

全54席、車両ごとにボックス席やホテルラウンジのような席があり、各車両には滋賀の主な物産が趣向を凝らして展示紹介されていました。

私が担当した7月は家族連れも見受けられ満席でした。ガイドが2人一組で各車両に乗込み、観光マップと合わせて当協会作成の推奨コースをまとめた資料を配布し、約10分間の持ち時間の中で近江八幡の魅力紹介に努めました。観光に特化した営業活動でしたが、最後にはお客様から大きな拍手がいただけ、一人でも近江八幡ファンになってくださればとの願いを込め、6人揃って列車の旗を振ってお見送りをしました。形は違えど、夢が少しだけ叶った一幕でした。

事業部 富岡 容生



JR ふれあいハイキング八幡堀カヌー体験を受けて



春に続き募集して行われた JR ふれあいハイキングの秋季のイベントが、10月18日に行われました。カヌーチームのメンバーでもある私はカヌーの対応もさることながら、第3土曜日は、ボランティア団体「八幡堀を守る会」の活動日であったので、八幡堀の清掃である除草をやった後ハイキングのカヌー体験の参加者を待ちました。春のイベントでは、桜の時期（1週間ほど早かったのですが）40名以上の体験参加者でしたが、今回は、22名の体験者でした。

当初天気予報では、風速5m/secとなっていてカヌーを出すのを心配しましたが、カヌー体験するには全く影響ありませんでした。各所（私の話した人は、大津と福井の小浜からでした）から来られたお客様も毎回満足して帰られます。

カヌーなど自然に多く左右されるイベントは特に天候には心配させられます。来られるお客さんに満足してもらえることが一番ですが、風がきつくて安全が保てるかどうかは、特にリーダー（広報部の中出さん）は、苦労が多いことです。今回は、まずまずでした。



広報部 東森俊之「ポレポレ25カヌーチームメンバー」

「近江八幡」の魅力と良さを再発見する！

令和7年度「近江八幡ふるさと観光塾」開催のお知らせ

開催日 令和8年1月24日（土）1月31日（土）2月7日（土）
2月14日（土）2月21日（土） 奮ってご参加下さい！



受講申し込み QRコード